



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント



しが CO₂ ネットゼロ 次世代ワークショップ

2023

CO₂ ネットゼロをジブンゴトに!

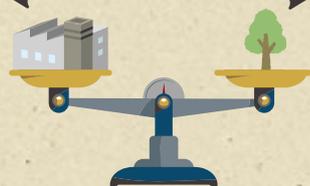


CO₂ネットゼロって何？

CO₂などの温室効果ガスの人為的な排出を減らし、森林などの吸収源を確保することでCO₂の排出量と吸収量の均衡を図ること。

排出を減らそう！

吸収源を増やそう！



このままCO₂が増えると…



気温上昇



災害



生態系の変化



水・食料の不足



社会・経済への影響



健康への影響



地球や私たちの暮らしがピンチ！

しがCO₂ネットゼロ・次世代ワークショップとは？

しがCO₂ネットゼロ・次世代ワークショップとは、滋賀県で持続可能な社会の実現に向けて取り組む地域、団体、企業へのフィールドワークを通して、滋賀県らしいCO₂ネットゼロの行動・取組アイデアを考えるプログラムです。ワークショップでの意見交換等を通じて生まれたアイデアを広く発信することにより、滋賀県内のCO₂ネットゼロ実現に向けた取組機運の向上を図ることを目的としています。

プログラム内容

DAY 1

8.9 水

13:00-19:00

@東近江市

あいとうエコプラザ菜の花館

キックオフ・交流会

プログラム全体についてのガイダンス、東近江市の菜の花館の取組について紹介しました。参加者同士の自己紹介や交流会も行いました。

 宿泊 (希望者のみ)

DAY 2

8.10 木

9:00-15:00

@東近江市

あいとうエコプラザ菜の花館

プレフィールドワーク

午前中に東近江市の梨農家で体験を行いました。午後からはCO₂ネットゼロに取り組むためのアイデアを考えるワークショップを行いました。

DAY 3

8.18 金

14:00-16:30

@東近江市

あいとうエコプラザ菜の花館

フィールドワーク

東近江市でCO₂ネットゼロに取り組む農家のところへフィールドワークへ行き、農家体験をしました。

DAY 4

9.2 土

13:00-17:00

@オンライン

アイデアブラッシュアップ

各チームで意見交換を行い、アイデアをブラッシュアップしました。

DAY 5

9.16 土

13:00-17:00

@東近江市

あいとうエコプラザ菜の花館

成果報告会

各チームで考えた滋賀県らしいCO₂ネットゼロ行動・取組アイデアを発表しました。

活動内容

DAY 1 キックオフ・ワークショップ

2023.8.9 @あいうエコプラザ菜の花館

キックオフでは、滋賀県の担当者からプログラムの概要と「しがCO₂ネットゼロムーブメント」について説明しました。アイスブレイクでは、参加者がジェスチャーゲームでグループ内コミュニケーションを深めました。

レクチャー

NPO法人愛のまちエコ倶楽部の伊藤さんに「菜の花エコプロジェクト」についての説明を受けました。このプロジェクトは、地域内循環モデルを基に、菜の花を栽培し菜種油の精製、使用後の廃食油の回収、バイオディーゼル燃料に再利用するといった実践をしています。その後、あいうエコプラザ菜の花館の施設見学を行い、せっけん作りの工程、バイオディーゼル燃料への精製工程、もみ殻くん炭の製造工程についての説明がありました。



DAY 2 プレフィールドワーク

2023.8.10 @あいうエコプラザ菜の花館



フィールドワーク 福永梨園

東近江市で38年間に渡る農業の経験を持つ福永さんが運営する福永梨園へ訪れました。現在は梨を含む多様な果物の栽培に取り組まれています。梨の収穫体験をさせていただくとともに、気候変動による異常気象が農業に与える影響や新規就農者を増やすための取り組み、地元高校生の農業体験についてお話を伺いました。



福永梨園では、土壌づくりにも力を入れており、野菜くずと街路樹の剪定枝を原料とした有機肥料を利用しています。有機肥料は、温暖化ガスの排出の削減に繋がり、温暖化防止を防ぐ方法の一つと言えます。さらに、果物の糖度が高くなる傾向にあるらしく、味も良くなるそうです。



レクチャー

午後のセッションでは、あいうエコプラザ菜の花館に戻り、伊藤さんから愛のまちエコ倶楽部の主な取り組みについてのレクチャーを受けました。伊藤さんは、ローカルプロジェクトを通して、Food, Energy, Careで自立した地域の構築を目指していると語られました。



アイデアワークショップ

2日間の内容を振り返り、学んだことや気づき、疑問点を付箋に書き出し、整理しました。自分が取り組みたいテーマを簡潔にまとめ、類似の関心を持つ参加者で3つのグループが形成されました。



🏠 宿泊

➤ だれんち? 〒527-0175 滋賀県東近江市梅林町90

空き家をリノベーションした宿泊施設で、コミュニティスペースやゲストハウス、生業づくりなどの役割を担っています。



DAY 3

フィールドワーク

2023.8.18 @あいとうエコプラザ菜の花館



フィールドワーク1

東近江市に移住・就農された遠藤さんご夫婦からトマトとメロンのハウス栽培について学びました。猛暑の影響で、トマトは夏野菜であるにも関わらず高温障害を起こし、実りの悪さに繋がってしまうようです。次に、土壌消毒の現場を見学し、連作障害防止のために土壌に混ぜるもみ殻くん炭を散布する体験をさせていただきました。

「もみ殻くん炭」は、あいとうエコプラザ菜の花館で製造されています。この炭は水はけの改善など土壌改善材に使用されています。また、近年では、炭素を地中に留めるのに効果的な手法であることが認められており、CO₂ネットゼロへの貢献が期待されています。

フィールドワーク2

続いて、同じく新規就農者である松本さんご夫婦の農園を訪れました。松本さんは、有機農法で里芋、まくわ瓜、ササゲなどの在来野菜を栽培されており、ササゲなどのマイナーになった野菜について興味深いお話を伺いました。また、気候変動による栽培の変化や、東南アジアの野菜の栽培についても話されました。有機農法で特に大変なのが雑草の処理で、私たちは雑草を抜くお手伝いをさせていただきました。



松本さんは有機農法を採用しており、化学肥料や農薬の使用を避けています。これにより、農業におけるエネルギー使用量と温室効果ガス排出量を削減し、環境への影響を軽減しています。

グループディスカッション

3つのグループがそれぞれ異なるテーマについて、先行事例を調査した内容を発表しました。ファシリテーターからは「新しいアイデアは既存のアイデアの組み合わせから生まれるので、調べたものや他のグループの発表から多くのヒントを得てみましょう。」というアドバイスをいただきました。他のグループのテーマに沿ってアイデアを考える機会を設け、客観的に自分のグループのアイデアを分析、さらに他者からのアドバイスで新たな発見をすることができました。



DAY 4

アイデアブラッシュアップ

2023.9.2 @オンライン



オンラインで実施し、各チームはこれまでに話し合ったアイデアを10分間で発表しました。各チームの発表後、参加者はグループに分かれ、異なるチームのアイデアについて質問や改善点のアドバイスを行いました。活発な意見交換を通じてアイデアのブラッシュアップが図られました。



農業×CO₂ネットゼロをテーマに3つのグループのアイデアを発表しました。発表中は各グループに向けてコメントを書き、相互評価を行いました。発表後、他者からのフィードバックを踏まえてアイデアの構想をし直し、東近江市でのCO₂ネットゼロ社会実現へ向けての取り組みに昇華できるよう話し合いました。



▶ 農業×CO₂ネットゼロ ◀

有機農業



農家のヒーローは小学生?! CO₂ネットゼロに貢献できるザッソウピックとは?

有機農業に焦点を当てたグループ1は、小学生が雑草を処理した量で競うイベント「ザッソウピック」という、CO₂ネットゼロに貢献できる有機農業において課題となっている雑草処理に注目し、その大変な作業を「泣く」から「笑う」へと変える提案です。

立命館大学・龍谷大学
立命館守山高校



若者への啓発

野菜トレーディングカード



若者がワクワクする脱炭素への取り組み

グループ2は、野菜トレーディングカードを提案しました。このカードは、消費者の関心を引き、農家のCO₂ネットゼロへの取り組みを紹介することを目的としています。カードには作物情報、脱炭素貢献度、QRコードを含み、直売所での使用を想定しています。若い世代に農業の重要性を伝え、SNSでの拡散を促すデザインになっています。

京都情報大学院大学
滋賀大学・立命館大学

地産地消



キャッサバ資源循環プロジェクト

グループ3は、滋賀県と東近江市のブラジル人コミュニティに着目し、主食であるキャッサバの地産地消を提案しました。国外から輸入するエネルギー消費の削減が図られるだけでなく、キャッサバの残渣を利用したバイオマス燃料の製造を行うことで、菜の花プロジェクトのような資源循環によりCO₂の排出量削減に繋がります。

立命館大学・社会人

ワークショップに参加して



インターネットだけでは得られない実践的な知識や体験ができたのはこのプログラムの大きな価値だと感じています。提案したアイデアのような若者向けの取り組みがこれからもっと進めばいいなと思いました。

CO₂ネットゼロに関する多くの知識を得ることができました。ただ知識を得たというだけでなく、一つの問題に対して多角的に考える視点を学び、個人としても成長できたと感じています。

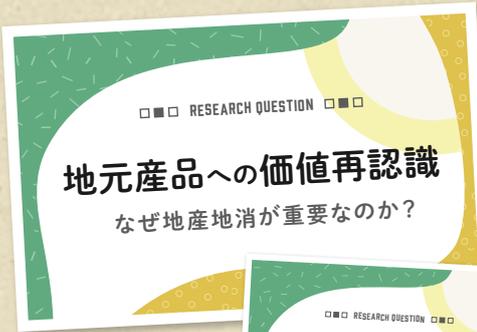


農業分野の脱炭素の取り組みを知ることができた。

フィールドワークを通して、都市にはない農村地域の活力、面白さを感じた。

多様な分野の勉強をする、年齢の異なる仲間に良い刺激をもらった。

使用ツール



リサーチ・クエスチョンカード

アイデアワークショップでのディスカッションを活性させるために、農業とCO₂ネットゼロに関連するワードが書かれた「リサーチ・クエスチョンカード」を作成し使用しました。参加者はこのカードの中から関心のある言葉を選んで議論を発展させたり、知らない単語について調べたりしました。

開発・ファシリテーター

成安造形大学 未来社会デザイン共創機構 助教
田口 真太郎氏



リサーチ・クエスチョンの一覧

- ・地元産品への価値再認識
- ・フードテック
- ・有機農業
- ・土壌問題
- ・再生可能エネルギーと農業
- ・パーマカルチャー
- ・カーボンファーミング
- ・食糧廃棄問題
- ・水問題
- ・環境再生型農業
- ・食糧自給の問題
- ・食糧危機

会場・協力団体

あいとうエコプラザ 菜の花館

〒527-0162 東近江市妹町70

あいとうエコプラザ菜の花館は、東近江市の資源循環型の地域づくりを進める拠点施設です。



NPO法人 愛のまちエコ倶楽部

2005年から東近江市(旧愛東町)を拠点に活動を開始しました。地域における課題をどう解決するか、どのようにビジネスに繋げるかという視点で、ローカルプロジェクトと称して様々な活動を行なっています。



公式サイト
<https://ai-eco.com/>

もっと知りたい!!

ワークショップの様子を
noteで発信しています!



ダイジェストムービーを
YouTubeで配信中!



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント

滋賀県 総合企画部
CO₂ネットゼロ推進課

☎ 077-528-3493

✉ cg00@pref.shiga.lg.jp



専用サイト
ゼロナビしが

2024年2月 発行 発行 | 滋賀県
制作 | 一般社団法人インパクトラボ